

新語録

## “接地気”

劉 柏 林

“接地気”という言葉が最近、中国のメディアや中国の政府要人のスピーチによく出てきている。2012年末、『咬文嚼字』という上海の文芸誌が発表したネット流行語TOP10に入り、「人民網」を調べただけでも、2015年11月現時点において10万回以上現れている<sup>1)</sup>。この言葉は抽象的で一部の中国人にとってもその意味が分かるようで分からないようなものである。大学で学生たちから度々“接地気”は一体どういう意味なのかと聞かれることがある。より正確に答えるために、手元にある東方書店の『東方中国語辞典』、白水社、講談社、小学館の『中日辞典』、愛知大学の『中日大辞典』を調べてみた。しかし残念ながら、どの辞書にも“地气”“接地気”という言葉が見当たらないことに気が付いた。ただ電気用語としての“接地”(アースを設置する)とだけ書いてある。どういうわけか、各出版社も愛知大学も辞書を編纂する際、これを取り上げなかったようである。筆者はこの小文で“接地気”について分析し、学生の質問に答えることができれば幸いである。

### 1. “接地気”とは

中国では“接地気”は新しい言葉ではなく、かなり古いものである。昔から中国人は“地气”は大地の息であり、大地に潜むパワーでもあると思って

---

1) 「人民網」<http://www.people.com.cn/> (2015年11月9日) 全部で100,309回。内訳を論末の参考に記す。

いる。“地中之气”<sup>2)</sup>「曰く、地中の気なり」。孟春三月，“天气下降，地气上腾”。三月になると「天气は下降し、地気は昇騰する」<sup>3)</sup>という言い方がある。樹木は地気に接して勢いよく茂り、大きくなる。草は地気に接して青々と生え、花は地気に接して美しく咲くことができ、農作物は地気に接して豊作の望みがあると信じる。とにかく“地気”のあるところの植物がよく成長するという意味である。だから、筆者は小さい時からよく“花盆里的植物要接地气”（植木鉢の植物は地気に接すべきだ）と耳にしてきたのである。

中国人にとって“地気”は実在するものであり、人によってはそれを感じたりすることができると言われている。中国人に「気」は物質であると認識されている。身体の中には「気」の通り道がある。人間も植物と同じく地気に接して体が元気になり、逞しく成長することができると考えられており、北京の人たちが「四合院」とか、アパートの一階とかに住みたがる理由もそれである。大地からの“地気”を受けることによって、植物がよく成長し、人も健康になれる。“人住能接地气的房子才有益健康”（人が地気に接する家に住んでこそ健康に役立つ）などと言われ、そうでなければ植物はうまく成長できず、人は病気になりがちになるという説もある。二階以上に住んでいる人ならば常に公園や畑などに出て“地気”を補充して健康を保つべきだと考えられる。上述したように“接地气”が中国人の日常生活にどれほど重要であるか、お分かりになるであろう。ところが、中国人の中には“接地气”という言い方は迷信だと思う人もいる。しかし、筆者の認識では“接地气”という考え方は古代の人たちの生活で生まれた生活智慧の一つで、それなりの理があると思う。長い間、室内で育てられ、一時、元気がなくなってしまった植木鉢の植物を、親の言うとおりに屋外の庭に出すと、何日か経つうちに、元気が戻ってきたことがあったのである。

---

2) 《辞海》「地気」。

3) 『礼記』月令。

## 2. 流行語になった“接地气”とは

“接地气”には時代の変遷によって新たな意味がもたらされた。流行語になった“接地气”は地に足の着いた落ち着いた生活を送るという意味から、自然で飾り気のない人、あるいは広く一般大衆と密着し、庶民の生々しい生活実感をよく理解し、大衆の生活とかけ離れていない、現実離れしていないことをいう。褒める言葉として広く使われている。例えば、以下のとおりである。

- (1) 开展“下基层、接地气、办实事”活动。  
(末端組織へ出かけ、大衆に接触し、現実の問題を解決する活動を展開する)
- (2) 接地气的，观众比较喜欢。  
(現状がよく反映され、観衆に親しまれている)
- (3) 那位领导很接地气。  
(その責任者はよく下層の事情を把握している)
- (4) 最接地气的作品。  
(（皆に）もっとも親しまれている作品)
- (5) 直接和用户面对面，接地气。  
(ユーザに直接会って、歓迎されている)
- (6) 福州大学生科技作品“接地气”养鱼不用换水和喂食。  
(福州大学の学生の科学技術作品は実際に役に立ち、魚を飼うのに水替えも餌をやる必要もない)
- (7) 这样的咨询会接地气，能解渴！  
(このような相談会は、問題の解決に役に立つ)
- (8) 记者在展示作品中看到，有不少作品都与生活息息相关，十分“接地气”。  
(記者は展示品の中に、日常生活と密接にかかわり、とても役に立つ多くの作品を見た)

### 3. 文法構造から見る

“接地気”は中国語の文法説明で「動賓構造」(動詞+名詞)である。“接”は日本語の「接する」などと同じく動詞である。日本語に訳せば、以下、四つのパターンになる。

- ① つぐ。つなぐ。ふれる。つく。つづける。つらなる。「接続」「接触」
- ② ちかづく。ちかよる。「接近」「近接」
- ③ まじわる。対応する。「接待」「応接」
- ④ うける。受け取る。「接受」<sup>4)</sup>

“地気”はもっぱら名詞で、地中の気である。“接地気”は動詞としても、形容詞としても使うことができる。

“接地気”の否定的な表現は“不接地気”で、反対語は“水土不合”(水と土は合わない)“不靠谱”(常識が外れる)などであり、日本語では「空気が読めない」である。

- (1) 那个电影不接地气。  
(その映画は人気がない)
- (2) 一些机关干部不了解基层、不接地气。  
(一部の役所の幹部は末端組織のことをよく知らず、官僚的だ)

最近、中国の若い人が“那个人长得很接地气”(その人の容姿はごく普通だ)のように形容詞として使う傾向が出てきている。

中国の国家指導者の習近平氏もよく“接地气”と言う。共産党幹部に、大衆から距離をとらずに常に大衆に寄り添い、大衆と向き合い、大衆の声によく耳を傾け、着実に大衆の要望に答えるよう呼びかけている。国の指導者にとっては国民が“地気”であり、作家にとっては読者が“地気”であり、学校の教員にとっては学生が“地気”である。とにかく自分の活動に関わる人たち、あるいは自分の奉仕する相手は自分にとって、“地気”(仕事相手)のような存在であるので、常に大事にしなければならない。いわゆる、大衆路

---

4) 《現代漢語例解辞典》林大監修、小学館、1992年3月20日第一版第二刷発行。

## “接地气”

線、大衆密着、現場主義である。現在の“接地气”は政治や教育、芸術などの分野で広く使われており、国民と広く触れ合い、一般大衆の願いや希望を叶えることを指すものになり、生活用語というより、「大衆路線」の代りに使われているので、むしろ政治用語になったと言えよう。中国で地方の役人、職場の責任者を評価するにはまず彼が“接地气”かどうかを見てから判断を下す。

学校の教員が良い講義をするためにはまず学生の要望を聞いて、その要望を実際の教学に反映させ、目標をもって教育を行う。そうすることによって学生に歓迎され、これは“接地气”となるだろう。

“接地气”は一時的な流行語ではなく、かなり生命力がある語なので、「中日辞書」に収録することをお勧めする。

劉柏林 Liu Bailin 愛知大学教授 専門：日中言語・文化の比較

参考 「人民網」 <http://www.people.com.cn/> 検索結果の内訳（2015年11月9日アクセス）  
全部で100,309回。※( )内の数字は出現回数。

湖北頻道 (11,296回)	甘肅頻道 (1,591回)	山西頻道 (789回)
中國共產黨新聞 (10,898回)	青海頻道 (1,414回)	湖南頻道 (748回)
人民網廣西頻道 (5,099回)	人民網江蘇視窗 (1,322回)	北京頻道 (734回)
河南分網 (4,792回)	地方領導 (1,288回)	河北頻道 (702回)
人民網娛樂頻道 (4,582回)	黑龍江頻道 (1,093回)	深圳頻道 (667回)
陝西頻道 (3,455回)	法治 (1,074回)	軍事 (625回)
傳媒 (3,354回)	新疆頻道 (1,065回)	中國政協新聞網 (595回)
文化 (3,278回)	社會 (1,026回)	娛樂 (522回)
安徽頻道 (3,278回)	廣東頻道 (1,020回)	時尚 (503回)
24小時滾動新聞 (2,572回)	財經 (979回)	雲南頻道 (469回)
時政 (2,428回)	遼寧頻道 (947回)	海外網 (466回)
江西頻道 (2,344回)	上海頻道 (889回)	中國人大新聞 (444回)
觀點 (2,233回)	教育 (886回)	寧夏頻道 (436回)
浙江頻道 (1,738回)	貴州頻道 (851回)	四川頻道 (380回)
福建頻道 (1,681回)	海南視窗 (831回)	國際 (377回) ほか
山東頻道 (1,619回)	人民網四川頻道 (823回)	
人民網福建頻道 (1,599回)	內蒙古頻道 (818回)	